



ゆとりある学習環境と温もりのある木造校舎

益城中央小学校新校舎完成

老朽化などのため移転改築が進められていた益城中央小学校新校舎の落成式が、同校で行われました。新校舎は、人にやさしい木造で、ゆとりある学習環境と、あらゆる箇所にバリアフリー環境が整備されています。この3月、新しい学び舎での思い出を胸に、6年生は卒業し、新学期には新しい1年生を迎え入れます。



式典は器楽部による演奏で幕開け

場で、益城町の未来を担う子どもたちが、伝統を築きながら、楽しい学校生活を送って欲しい」と式辞。工事経過の報告後、益城中央小の建設に際して多大な貢献のあった34社に感謝状、全校児童に対して新校舎落成の記念品が贈呈されました。

来賓の益城町議会議長 渡

辺誠男氏の「益城中央小学校の子どもたちは、この木のぬくもりを感じさせる明るい廊下や広い運動場などが整備された素晴らしい環境のもとでのびのびと学習できるものと期待しています」という祝辞を受け、大塚博資校長は「この学び舎に子どもたちの歓声が響くことを想像すると楽しみでなりません。私たちがこの喜びに感謝の気持ちでお応えするには、家庭や地域の皆

益城中央小学校器楽部による演奏の後、新校舎の体育館で開催した式典には、約170人の来賓が出席しました。
住永町長は「この温もりのある木造校舎、広い広い運動

様と連携し、子どもたちの健全育成のために教育活動を進めていくことが大切だと思っています」と謝辞を述べました。



たくさんの人が完成を祝いました